

Shien

し ん ん

子どもの読書に関わる方々の活動とネットワークを支援(Shien)する。
そんな大きな願いをもったささやかな情報誌です。

第26号



バックナンバーは
埼玉県立図書館
ウェブサイトへ！

特集「小学校で、子どもに本を手渡すには」



今回は、小学校での子ども読書推進活動に焦点を当て、
三郷市立桜小学校（以下：桜小）に取材に伺いました。

平成22年から平成29年までの7年間で、児童一人当たりの貸出冊数が**10倍**に増えたという桜小学校。

数年間で子どもたちが本を手に取る機会が急激にふえた、その秘密をのぞいてみましょう。

上の写真は、三郷市立桜小学校図書館前の「ブックストリート」。

ブックストリートとは、本を並べたり、読書に関する掲示物を貼った廊下のこと。右手には三郷市に伝わる民話の掲示が、左手には『たくさんのふしぎ』という科学読み物が、ずらりと並んでいます。

そして、校内に入り最初に目に飛び込んできたのが「よりみち文庫」です。昇降口などに本とクッションが置いてあり、好きなときに読むことができます。

また、校内には、様々なところに読書に関する掲示があります。図書館に入らずとも、いつでも子どもたちの身近に本がある、という環境が整えられています。



三郷市立桜小学校に 行ってきました！

【桜小基本情報】

在校生：259名 (H30.4.1現在)

校長：浦野 和彦先生

蔵書：約1万冊 貸出冊数：5冊まで

年間貸出冊数：一人当たり177冊 (H29)

司書の配置：有り (月・木曜日)

平成28年度子どもの読書活動優秀実践校

●桜小の取り組み ~読書bingo~

桜小では、児童たちに様々なジャンルの本を読んでもらうべく、「読書bingo」を行っています。これは、下のような、①～⑨のお題に合う本を児童が読み、オールbingoを目指すというもの。

①えほん	②物語	③動物の本
④詩の本	⑤すきな本	⑥伝記
⑦外国の本	⑧社会の本	⑨スポーツの本

「読書bingo 9つのお題」



●桜小の取り組み ~このほかの取り組み~

- ・桜家族読書の日：毎月2回、家族みんなが読書を！
- ・群読集会：全校児童を前に群読で一人一人の思いを表現などなど、様々な取り組みをしています。



●分かりやすく、使いやすい図書館

図書館内の装飾はただ可愛らしいだけじゃなく、子供達が使いやすいよう、考えて作られていました！



●桜小を支えるボランティア

この記事で取り上げたたくさんの掲示物。実は、これらは全て、おはなしボランティア「お話ポケット」のみなさんが作っています。

①どのような経緯でボランティアを始めましたか

桜小の地域ボランティアで活動する中で桜小学校が図書館活動に力を入れることを知り、図書整理のボランティアに入りました。そこでPTAの読み聞かせのサークルとご縁があって、活動を共に行うことになり、今に至ります。

②ボランティアとしてのやりがいを教えてください

こども達が少しでも楽しんでくれること、例えば読み聞かせの後に目を輝かせている姿を見ると、やっていてよかったです。また、こども達から声をかけてもらったりすることで、エネルギーをもらっています。

お話ポケット代表
石田さんにインタビュー

●学校司書



桜小学校司書 湊理子さんにインタビュー

①どのような仕事をしていますか

図書館業務全般に携わっており、具体的には貸出・返却などのカウンター業務、書架整理、レファレンス、授業の支援、選書や選書リスト作成、本の修理などを行っています。

②学校との関係で工夫していることがあれば教えてください

図書担当の先生が2名おり、昼休みや放課後など少しでも空いている時間をみつけてできるだけ直接お話しするようにしています。また、桜小学校は、図書担当の先生の内1名はクラスを受け持っていないので、時間を合わせやすいので助かっています。

●三郷市全体の取り組み

また、三郷市全体での取り組みも多数あります。

【読書フェスティバル】

三郷市全体で年に一度、各校の読書に関する取り組みを発表している。

【三郷おすすめの本100冊】（右写真）

三郷市の小学生・中学生にすすめるブックリストとして、三郷市教育研究会が作成。各学年のリストの本を読破した児童生徒に、「読破賞」を贈っている。

ほかにも、子ども司書の養成や、新1年生への本のプレゼント、市内の図書館職員による小学校でのブックトークなど、様々な活動を行っています。

桜小のボランティア

◆お話ボランティア「お話ポケット」（10名）

…毎週月曜日の朝の読み聞かせと、月1回のお昼の読み聞かせ。それ以外に、毎週木曜日の午後に作業の時間を設け、校内の掲示物等の作成も行っている。



◆紙芝居ボランティア「赤とんぼ」（3名）

…低学年を対象とした、月曜の朝の紙芝居の読み聞かせ。



◆司書ボランティア（1名）

…児童の利用が多い金曜日に、貸出を行う。

ギリシャの資料展

東京オリンピック・パラリンピックでホストタウンに選ばれた三郷市。司書の方による関連展示がありました。

工作会

夏休みには、工作会も担当されているそうです。

三郷市おすすめの本

三郷市おすすめの本

全部読むと、読破賞をプレゼント！

おわりに

取材を通して、桜小学校では、教員、司書、家庭、ボランティア、それぞれの立場から子どもたちに働きかけることで、子どもたちの読書量向上につながっているように感じました。

普段、関係者以外はなかなか訪れることが出来ない小学校の図書館。この記事を通して、少しでも様子が伝わっていれば幸いです。

(取材・文：須藤・近藤)

お役立ち情報

埼玉県立図書館ウェブサイトでは、子ども読書支援ボランティアの協力を得て、子どもの読書に関する役立つ情報を集め、紹介しています。

今回は、今号の特集テーマ「小学校で、子どもに本を手渡すには」に関連して、**小学校での子どもの読書活動**に関する情報をご紹介！



もっと読みたい方は
埼玉県立図書館
ウェブサイトへ！

ブックリストグループより 使えるブックリスト

～朝の読み聞かせ 秋・冬～

【低学年】

題名	時間
だいくとおにろく (松居直／再話 赤羽末吉／画 福音館書店)	13分
どんぐりだんご (小宮山洋夫／さく 福音館書店)	6分
ふゆのあさ (村上康成／作 ひかりのくに)	3分
ゆきのひ (E. J. キーツ／さく きじまはじめ／やく 偕成社)	5分
きらきら (谷川俊太郎／文 吉田六郎／写真 アリス館)	2分



秋といえば
読書！

思わずところで時間が押して、最後まで読めない事態が起こるかもしれません。少し時間が余るくらいでプログラムを考え、余裕があったら、季節に合った「詩」などを入れてみてはいかがでしょうか。

【中学年】

題名	時間
きのこ ふわり胞子の舞 (埴沙萌／写真・文 ポプラ社)	8分
そりやあもういいひだったよ (荒井良二／絵 小学館)	4分
としょかんらいおん (ミシェル・ヌードセン／さく ケビン・ホークス／え 岩崎書店)	14分
1つぶのおこめ (デミ／作 さくまゆみこ／訳 光村教育図書)	10分
ゆきのうえゆきのした (ケイト・メスナー／文 クリストファー・サイラス・ニール／絵 福音館書店)	8分
ゆうかんなアイリーン (ウィリアム・スタイルグ／作 おがわえつこ／訳 セーラー出版)	7分

【お薦めの詩】

題名	出版社
「のはらうた」(I~IV)	童話屋
「現代日本童謡詩全集」(全22巻)	国土社
「まどみちお全詩集」	理論社



新聞・雑誌クリッピンググループより

切り抜き羅針盤



嵐山町大妻嵐山中学・高校では、誰でも参加できるビブリオバトルを活用して、コミュニケーション力を磨く。

(朝日 2018.5.31 朝刊30面)

羽生市立羽生南小学校は、2018年度「子供の読書活動優秀実践校表彰」で全国1位の文部科学大臣賞を受賞した。ビブリオバトル、読書履歴のデータ化などの実践が評価された。

(埼玉 2018.5.1 朝刊12面)

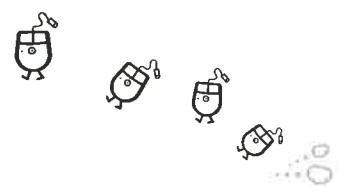
岐阜県笠松町立笠松小学校では、年に数回「名作おはなし給食」を提供している。身近な食を入り口にして、自然と本の世界へ入っていければと、栄養教諭と司書が企画した。数週間前から学校図書館に料理の模型などを展示し、子どもたちを物語の世界へいざなう。

岐阜県は、「図書標準」を達成している公立小の割合が47都道府県で最高の98.1%である(文部科学省2016年度調査)。

(朝日 2018.6.5 朝刊24面)

情報収集グループより

おすすめウェブサイトの紹介



▽ 学校図書館ボランティアのページ

(東京都教育庁地域教育支援部管理課社会教育施設係)

<http://kodomo-dokusho.metro.tokyo.jp/volunteer/>

東京都教育庁地域教育支援部管理課社会教育施設係が作成した、

読み聞かせボランティアスキルアップ手法のビデオの内容が、YouTubeで公開されています。

□ いつでも行ける学校図書館づくり 学校図書館ボランティアハンドブックについて(神奈川県)

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f534190/>

学校図書館ボランティアの役割やマナー、活動例など、これから小・中学校等の図書館で活動を始めようする方や始めたばかりの方のためのハンドブックがPDFで紹介されています。

□ 学校図書館ボランティアはじめの一歩講座 (学校図書館を考える会豊橋・あいち)

http://www.geocities.jp/papirusu_toyohashi/torikumi/report/vola08.html

豊橋市中央図書館で行われた学校図書ボランティア向けの講座の内容を報告したページです。図書館の整備の仕方や本の修理、読み聞かせについて書かれています。

読み聞かせやストーリーテリングの研修会を実施してみませんか？

～読み聞かせボランティアのための講師派遣のご案内～

無料



埼玉県立久喜図書館では、埼玉県内のボランティア団体が開催する研修会に、講師を派遣しています。読み聞かせやストーリーテリングについて悩んでいる方やスキルアップしたい方は、お気軽にお申込みください。

対象：絵本の読み聞かせやストーリーテリングをしている県内のボランティアグループ
3名以上（幼稚園・児童館・小・中学校の読み聞かせボランティアグループなど）

研修会を受講された団体からの感想

先生の読み聞かせの実演、お互いに読み、聞く体験をしました。

お互いに読み聞く体験は最初は恥ずかしい気持ちもありましたが、一緒に活動している人たちが、どんな本をどのように読んでいるのかがわかり、勉強になりました。子供の気持ちになり、「読み聞かせは楽しいもの」ということを改めて感じました。

三郷市立前谷小学校
読み聞かせボランティアたんぽぽ

埼玉県立小児医療センター
病院ボランティア 読み聞かせグループ

新しい人も多かったのですが、何十年やっているベテランの方でもたくさん質問が出ていました。

また、素話を私達に向けてしてもらい、私達も今年必ず一つ覚えてみよう、やってみようという気持ちにさせてくださいました。

さいたま市立大砂土小学校
図書ボランティア「読みきかせたい」



本の持ち方、選書のしかたなど奥深さを感じました。初心者ですが、夏休みにでも実践する機会があるといいです。
本のリストも大変参考になります。

県立図書館のおはなしボランティア指導者から講師派遣についてアドバイスをいただきました！

高橋ふじえさんより

①講師派遣のおすすめな点とは？

子供達に良い本を届ける、というグループの皆さんの共通する思いを再確認できる場になります。選書の手がかり（情報）を得ることができます。

②講師派遣に関心のある方へ一言

講師派遣で、出会った方から、体験談を伺ったり、絵本（読書）という共通の話題で共感したり、自分自身の学習の機会にもなります。

青木さち子さんより

①講師派遣のおすすめな点とは

実践に即した指導を心掛けています。そのためには、実際に講師として派遣される前に申込団体と事前に打ち合わせを行い、現状をできるだけ把握し、課題が何であるかを踏まえ、講座に臨むようにしています。

②講師派遣に関心のある方へ一言

読み聞かせを行う上で、自分たちが悩んでいる事やどうしてよいか分からぬ時に気軽に相談するつもりで申込みをしてほしいです。

編集発行 埼玉県立久喜図書館 子ども読書支援センター

協力 子ども読書支援ボランティア

〒346-8506 埼玉県久喜市下早見85-5

TEL 0480(21)2659 メールアドレス kuki-jido@lib.pref.saitama.jp



埼玉県のマスコット
コバトン